

「書の甲子園」で優秀賞

初芝富田林高校の書道部

初芝富田林高校3年生の藤浪佐也圭さんさやかと写真前列

右二と福本陽菜さんひななと

左二が「第27回国際高校生選抜書展」で、準大賞に輝いた。また、近畿地区団体の部でも、同校書道部（3年生7人）が、入選の数と

賞の成績に準じた結果、見事優秀賞に選ばれた。

藤浪さんは、「道因法師碑」の臨書に挑戦。10時間ほどかけて仕上げた大作だが、集中力を切らさず一気に書き上げた。墨が金色なので乾きやすく、全体の墨の濃

さを合わせるのに苦労した。将来の夢は、国語と書道の教員。「根気よくやってきたことが評価されたのだと思います」と受賞の喜びを語った。一方、福本さんが、

本格的に書道を始めたのは、同校書道部に入部してから。「受賞を聞いたときは、驚いたのが一番」。将来も、何かの形で書道に関われたらと考えている。

同部の特徴は、「和気あいあいとした温かい雰囲気の中、それぞれが課題をこつこつと練習しているところ。文化祭で、部員皆で行うパフォーマンスが楽しみの一つです」と部長の船富咲希さんあきと同中央。〔野木〕

